

全国大会へ闘志!



9月2日(土)第68回九州吹奏楽コンクールがイヅカコスモスコモン(飯塚市)にて開催された。九州吹奏楽コンクールは、10月28日に行われる第71回全日本吹奏楽コンクールの推薦団体選考会を兼ねている。各県予選より推薦された小学校から一般まで109団体が出場した。大学の部では11大学が競演し、本学は金賞を受賞。全日本吹奏楽コンクールへの推薦を獲得した。全日本吹奏楽コンクールに推薦された大学は、本学の他に日本経済大学であった。

井上将雅 主将コメント

先日行われました第68回九州吹奏楽コンクールにおいて、私たち福岡工業大学吹奏楽団は金賞を受賞し、全国大会への切符を手にすることができました。私たちが不自由なく活動できるのは、顧問の先生方をはじめ、大学の方や保護者の方々等のご助力あつての事と感謝しております。

九州大会でも県大会と同様に、課題曲「天野正道さん作曲「レトロ」と 自由曲のC.T.スミス作曲「ルイ・ブルジョワの讚美歌による変奏曲」の2曲を演奏しました。

課題曲「レトロ」は、曲名にもある通りレトロチックな曲調で、躍動感ある部分やムーディーな雰囲気演奏する場面があります。私達大学生が知らない「昭和」の雰囲気を出すためにどうしたら良いか、また全体的に明るい曲なので聴いている方が楽しく聴けるようどう演奏するか模索しながら演奏しました。自由曲の「ルイ・ブルジョワの讚美歌による変奏曲」は「レトロ」とは対照的に、高い演奏技術が求められる、曲の序盤では讚美歌の様に聴いている人がうっとりするような壮大で美しい場面があります。私たちは実際に讚美歌を聴き、その美しさを楽器で表現するにはどうしたら良いか考えながら演奏しました。曲の終盤には、金管楽器が煌びやかに吹く場面があり楽器を吹くパワーが必要となってきますので2年前から始めた日々の筋トレに更に力を入れ、身体づくりや楽器を上手に響かせる練習を徹底して行いました。

10月28日に宇都宮市で開催される全国大会に向けて、これまで出場した県大会や九州大会の反省を生かして、更にレベルアップした演奏が出来るように、学生指揮を

を中心に各楽器のパートリーダーと会議を重ねつつ、皆が初心にかえってもう一度基礎の部分から見直す等、部員一丸となって練習を積み重ねています。今年こそは念願の全国区大会金賞を受賞したいと日々精進して参ります。

吹奏楽コンクール

当年度に指定された課題曲4曲の中から1曲と、団体が独自に選定した自由曲1曲を続けて演奏する。演奏時間は規定により課題曲の開始から自由曲の終了まで12分である。

